



みなみ 園だより 3がつ

令和5年3月1日
目黒区立南保育園
南保育園園長

庭の沈丁花の蕾が日に日に花を咲かせるようになってきました。寒い中にも春の気配を近くに感じます。忙しいとついつい足元ばかりに目がいき、足早に通り過ぎてしまっていました。時にはいい香りに足をとめ、明るい空に向かって深呼吸しながら心に余裕を持ちたいものだと思います。

先日幼児クラスでお店屋さんごっこがありました。各クラスのやりたいこと・好きなことがたくさん詰まったお店屋さんが開店しました。どこのコーナーも大人を頼ることなく分担した役割を一生懸命、そして嬉しそうにお客さんで来てくれた子に対応している姿に驚きました。お客さん役は3、4、5歳の同じマークの子ども同士でお店を回ったのですが、初めは緊張していて後からついていく姿の3歳児クラスの子も、慣れてくると「〇〇ちゃん、あっちにいきたい」と次第に先頭にたって4、5歳児クラスの子と思う存分に楽しんでいる姿が見られました。小さい時からの友達とのやりとりや、日ごろの制作活動の成果がこのような楽しい活動につながっていることを嬉しく思いました。

今年度も子どもの育ちが豊かになるようにと保育内容を職員と確認しながらすすめてきました。保護者の皆様のご理解、ご協力があってこそです。感謝いたします。裏面に各クラスの一年の成長を記載しています。どうぞご覧ください。

今月の行事予定

0歳児健診
卒園式 5歳児
避難訓練（原町小学校へ避難）
お別れ遠足（3、4、5歳児）
お別れ散歩（5歳児）
*身体計測 全クラス

つぶやき

《1歳児てんとうむし組》

散歩に行ったとき虫探しをしていると
保「だんごむしいないね」
子「ちょうちょもてんとうもいないね」
保「どこにいったんだろうね」
子「かくれんぼしてるのかな」
子「だんごむしもちょうちょもかくれんぼじょうずだね」

『おみせやさんごっこのようす』

カランカランと音が鳴り、お店屋さんが開店しました。お店役の子どもたちは「いらっしゃいませ」と声を上げて客を呼んでいます。3歳児は「でんでんマーケット」、4歳児は「おさかなとるとるキャンプ場」、5歳児は「とんぼまつり」をしました。お店に合うように花やドーナツ、魚やチョコバナナ等を作り、お店に並べました。子どもたちは「このドーナツ、チョコレートがかかって甘いですよ」と勧めたり、「魚のつかみ取りをする人はこちらです」と案内したり、「射的は銃のここにゴムを掛けてくださいね」とやり方を知らせたりしながら店員になりきっています。客の子どもたちも「これください」「おいしい」「やった、取れた」など言いながら店員とやりとりし、喜びながらお店の雰囲気を楽しんでいます。客の子どもたちは異年齢クラスの同じマークの友達と一緒に回りました。年下の友達に「どれにしようか」と年上の子

が訊いたり、年下の子が食べていたポテトを年上の子がじっと見ていると、年下の子がおすそ分けしたりしながら、異年齢との関わりも楽しんだお店屋さんごっこでした。



特集

一年間で成長した子どもたちの姿をお伝えします。

0歳児・ありんこ組

テラスに設定した一本橋に片足をかけながら保育士を見つめています。その子と目が合い、保育士がうなずくと渡りはじめました。渡りきると「た(できた)」と嬉しそうに伝えてきます。巧技台をよじ登ったり、斜面も座った姿勢でバランスを取りながら滑っていきます。歩行も安定してきて、小走りをしたりジャンプをしたり、凸凹した場所や少し高い所を歩くなどにも挑戦するなど行動範囲や子どもたちの世界が広がってきています。

1歳児・てんとうむし組

言葉で自分の思いを伝えることが多くなりました。「先生、おはよ」「こっちに来て」「見てて」と保育士に言っています。「〇〇欲しいの」「△△だから嫌」と自己主張もしています。友達同士でも「貸して」「こっち、あげる」など、やり取りしています。自分の思いを聞いてもらい、伝わった時の嬉しそうな笑顔が本当に可愛いです。春の頃は指差しや「あっあっ」という声を伝えていたので、姿の変化に1年間の成長を感じます。

2歳児・みつばち組

二人の子どもが人形を取り合っているので保育士が「どうしたの」と話を聞くと、一人の子が「私この人形さっきから抱っこしていたの」と伝えています。それが分かるともう一人の子はあきらめたのか人形から手を離しました。保育士に「使いたかったね」と気持ちを受け止めてもらうと、「じゃあ私こっちの子にする」と、気持ちを切り替え別の人形を抱っこしました。そしてさきほどまで人形を取り合っていた友達に「ミルクあげよう」と誘い、一緒にミルクをあげ笑い合っています。保育士が仲立ちしながら、友達と同じ遊びをすることを楽しむようになってきています。

3歳児・でんでんむし組

散歩先でマラソン大会を楽しんでいます。曲がり角で転んでしまった子に気づいた友達が「大丈夫かな」と駆け寄り、脇を抱えて一緒に走ってくれました。優しい気持ちが周りの子にも広まり「がんばれ」と声援を送ってくれる子もいました。友達との関わりが深まってきていると感じます。また、「一緒に〇〇して遊ぼう」と友達同士で誘い合う姿も増え、友達が大好きで一緒に遊ぶことが楽しいと思いながら毎日を過ごしています。「こおろぎ組になったら何して遊ぼうか」と進級への期待を膨らませています。

4歳児・こおろぎ組

どろけいをしている時、逃げている子が転び警察役にタッチされて捕まりました。その子は痛さと悔しさで泣き顔を見られないよう背を向けていたので、保育士が尋ねると「転んだ時タッチされたのが嫌だ」と答えました。周りの子も「転んだ時って痛いよね」「すぐ立てないよね」と自分の経験を振り返り、思いに共感しています。それから“転んだときはすぐにタッチはしない”と子どもたちなりのルールができました。様々な思いを経験し、相手の思いを聞きながら、自分たちなりに楽しめるルールを考えられるようになりました。

5歳児・とんぼ組

園庭に出ると「ドッチボールしよう」「コート書くよ」等、遊びに必要な環境を自分たちで整え楽しんでいます。内野が少なくなっていくと「元外野入って」「外野にいる人にパスした方が中に残る人が増えるよ」と、チームが勝つ作戦を友達に教えながら勝負しています。勝つことができる「やったね」「俺ら強いね」と、友達と関わる中で互いの思いを共有し合い、仲間意識も育っています。また、「勝ちたい」という同じ目標に向かって、互いの考えを出し合ったり協力したりし、充実感をもって活動できるようになりました。